

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 9月

令和元年9月1日の推計人口 1,325,744人

世帯数 561,293世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、

世帯数：560,720世帯

1 推計人口

令和元年9月1日現在の推計人口は、1,325,744人で、前月(1,326,993)に比べ1,249人の減少となった。

市部では大村市(39)、島原市(3)の2市で増加し、長崎市(475)、佐世保市(239)、諫早市(70)、南島原市(64)、西海市(59)、平戸市(56)、対馬市(36)、松浦市(28)、雲仙市(15)、壱岐市(15)、五島市(13)の11市で減少した。

郡部では長与町(14)、東彼杵町(12)の2町で増加し、時津町(186)、佐々町(27)、新上五島町(14)、波佐見町(12)、川棚町(6)、小値賀町(2)の6町で減少した。

自然動態は、出生数813人、死亡数1,422人で609人の減少、社会動態は、転入者数3,146人(県内転入を含む)、転出者3,786人(県内転出を含む)で、640人の減少となった。

2 世帯数

令和元年9月1日現在の世帯数は、561,293世帯で前月(561,768)に比べ475世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…7月

1人当たり現金給与総額 323,802円

対前月比 29.2%減少

対前年同月比 0.6%減少

1 賃金

7月の常用労働者1人当たりの賃金をみてみると、現金給与総額323,802円で、前月に比べ29.2%減少し、前年同月に比べ0.6%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は246,780円で、前月に比べ0.7%減少し、前年同月に比べ1.5%増加した。

特別給与額は77,022円で、前年同月に比べ、5,657円減少した。

2 労働時間

7月の常用労働者1人当たりの労働時間をみてみると、総実労働時間は154.5時間で、前月に比べ1.4%増加し、前年同月に比べ1.0%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は144.0時間で前月に比べ1.6%増加し、前年同月に比べ、1.4%増加した。

所定外労働時間数は10.5時間で、前月に比べ2.8%減少し、前年同月に比べ4.5%減少した。

3 雇用

7月の常用労働者数は227,160人で、前月に比べ0.1%増加し、前年同月に比べ0.6%増加した。

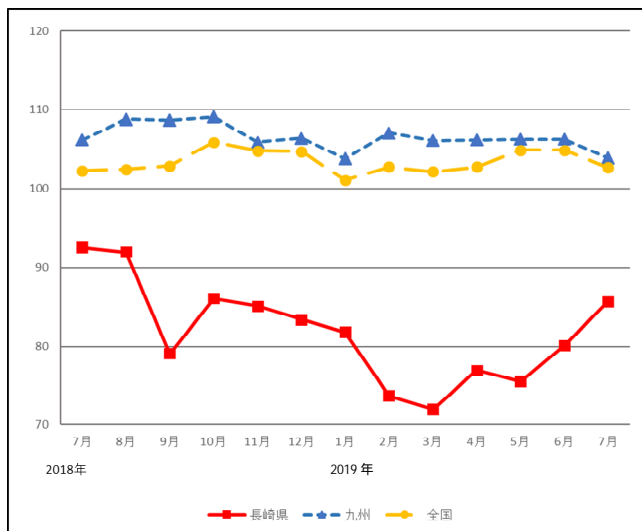
【鉦工業生産指数】…………… 7月

令和元年7月の鉦工業生産指数

(平成27年=100、九州は速報値)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
	指数	前月比(%)		
長崎県	85.7	7.0	82.4	7.4
九州	103.9	2.0	109.2	3.2
全国	102.7	1.3	106.9	0.7

鉦工業生産指数の推移【季節調整済指数】



令和元年7月の鉦工業生産指数は、季節調整済指数が85.7で前月比は7.0%の増、原指数は82.4で対前年同月比は7.4%の減となった。

業種別にみると、はん用・生産用機械工業、輸送機械工業、窯業・土石製品工業など9業種が上昇し、電気機械工業、繊維工業、食料品工業など4業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	66.0	47.3	コンベヤ
輸送機械工業	13.9	11.3	新造船
窯業・土石製品工業	6.7	3.6	護岸用コンクリートブロック

主な低下業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	43.0	1.6	交流発電機
繊維工業	8.9	5.0	ニット製下着・補整着・寝着類
食料品工業	7.3	23.4	清酒

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 8月

総合指数(H27=100) 103.5

対前月比(%) +0.3

対前年同月比(%) +0.5

令和元年8月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、103.5である。

前月比0.3%の上昇で、主な上昇要因は「教養娯楽」の+2.4%、「食料」の+0.6%であり、主な下落要因は「被服及び履物」の2.0%、「光熱・水道」の0.3%である。

前年同月比は、令和元年5月は+0.3%、6月は+0.4%、7月は+0.7%と推移した後、8月は0.5%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.5であり、前月比は+0.1%、前年同月比は+0.7%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

教養娯楽	2.4%
食料	0.6%
諸雑費	0.1%
家具・家事用品	0.1%

下落した費目

保健医療	0.1%
光熱・水道	0.3%
被服及び履物	2.0%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…………… 8月

消費支出(一世帯当たり) 325,257円

前月比 22,799円増(7.5%増)

令和元年8月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は325,257円で、前月比7.5%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は70.7%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。